

# 石狩川流域にわずかに残る湿地環境・文化をネットワークの力で守り育てる

活動地域  北海道

つづける助成

**3年目**

実践

保全・利活用活動参加者数 **71人**

フォーラム・カフェ参加者数 **164人**

今年度計画の達成度 **85%**

全体計画の達成度 **55%**



太陽光パネル設置の変更で保全できた湿地

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

新型コロナウイルス禍で予定していた活動ができず、多くの市民に湿地の大切さや魅力を知ってもらう機会が激減した。

### ■ 工夫した点

オンラインでの活動を多く取り入れ、フォーラムや湿地カフェはWeb配信やハイブリッド開催を行った。また今後の展開を考え、VRによって入口を広げる試みを始め展開中。

## 課題

石狩川流域はかつて広大な湿地があったが、開拓や経済発展とともに99.9%以上消失し、豊かな自然環境と文化も喪失。住民の多くも無関心で現在も減少が続いている。

## 目標

多くの生物の生息を支え人間の安全や文化にも寄与する湿地を、将来にも残し育てていく。そのために多くの市民に湿地の魅力と大切さを知ってもらう。

## 活動内容と成果

- 未保全湿地の調査/湿地調査ワークショップ開催  
生物相一斉調査 (76人参加) で風力発電の課題を広報。太陽光発電による湿地破壊の防止
- 残存文化の周知「スゲ採取～メ縄作り」(46人参加)
- 湿原再生のための育苗活動の輪を広げる  
養護学校・デイケア・フリースクールで実施 (54人参加)
- 湿地の魅力と学びの場を提供  
フォーラムや湿地カフェをハイブリッド開催  
(当日参加164人、YouTube再生回数 計約932回)
- 普及啓発の新しい手法  
湿地VR空間・キャラクターの作成、InstagramでのAR化を実現



VR体験も行った対面開催したフォーラム

## 全助成期間の活動を振り返って

3年間の助成を通して、多くの人に湿地の魅力と大切さを知ってもらい、活動にも参加してもらえたが、新型コロナウイルス禍もあって十分とは言えないのが残念である。新たに再エネによる湿地の破壊も課題となり、まず地域の人や開発者そして行政への周知の大切さを痛感している。またリアルな活動が制限される中、新たにVRによる活動のベース作りが進められたことは今後の普及啓発や活動への巻き込みに大きな力となった。



新型コロナウイルス禍で急遽Webで開催したフォーラム

〒064-0808  
北海道札幌市中央区南8条西2丁目5-74  
市民活動プラザ星園405号  
電話：011-200-0973  
E-mail：ishikari.wetland@gmail.com  
HP：https://ishikarigawa-net.com/



## 今後の展望

守るべき湿地のMAP化により、見える化を進めていく。また広く多くの人を湿地保全利活用の応援団になってもらい、湿地を守ることが当たり前な社会を目指す。関わる人を増やすため、湿地へ誘う楽しいコンテンツづくりを進める。湿地VRによって、これまで湿地に興味のなかった層やハンデキャップのある人を誘い、また観光・物産等の産業への入口にもしていくことで、リアルでは作りにくいプラットフォームづくりを展開したい。